

第1章

基本的な事項

- 1 策定の目的と考え方
- 2 位置付けと役割
- 3 基本事項
- 4 構成

第2章

都市の現状と課題

- 1 広島市のなりたちと特色
- 2 都市の現状と動向
- 3 広島市の都市づくりの課題
- 4 方針策定にあたっての留意点

第3章

都市づくりの目標と方針

- 1 都市づくりの目標
- 2 都市づくりの方針

第4章

めざすべき都市構造

- 1 都市構造の転換
- 2 集約型都市構造の構成

第5章

分野別の方針

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 土地利用 | 4 環境保全 |
| 2 都市施設の整備・活用 | 5 都市防災 |
| 3 市街地整備 | 6 都市の魅力向上 |

第6章

マスタープランの実現に向けて

- 1 市民と行政との連携・協働の推進
- 2 総合的な施策展開の推進

1 市民と行政との連携・協働の推進

多様なニーズに対応したきめ細かいまちづくりを展開していくためには、行政のみがその役割を担うのではなく、**地域の特性や課題を踏まえて市民（住民、企業、NPO等）が主体的に取り組み、それを行政が支援するという仕組みが必要です。**

このような取組を通じて、地域みなさんが愛着と誇りを持って住み続けたいと思える魅力のあるまちがつくれます。

そのためには、自助・共助・公助の考えに基づいて各主体の役割分担と責任を明確にし、多様な立場の人々の連携・協働を推進することが必要です。

(1)各主体の役割

ア 住民（町内会などの地縁組織やNPOなどの市民団体を含む）に期待される役割

- 広島市の都市づくりについて、市民と行政が共通認識を持つよう努めます。
- まちづくりの主体であることを自覚し、地域社会に関心を持って、積極的にまちづくりに関わるよう努めます。
- 職業や立場などにかかわらず、自らの知識、技能などを生かして、様々な主体との連携・協働の下で、できる範囲でまちづくりに取り組みます。
- NPOなどの市民団体は、専門性などを生かし、まちづくり活動を進めるとともに、地域住民や企業などとの連携・協働に積極的に取り組みます。
- 地域に応じた課題に対応するため、都市計画の決定・変更を行政に提案できる「都市計画提案制度」を活用し、積極的にまちづくりに取り組みます。

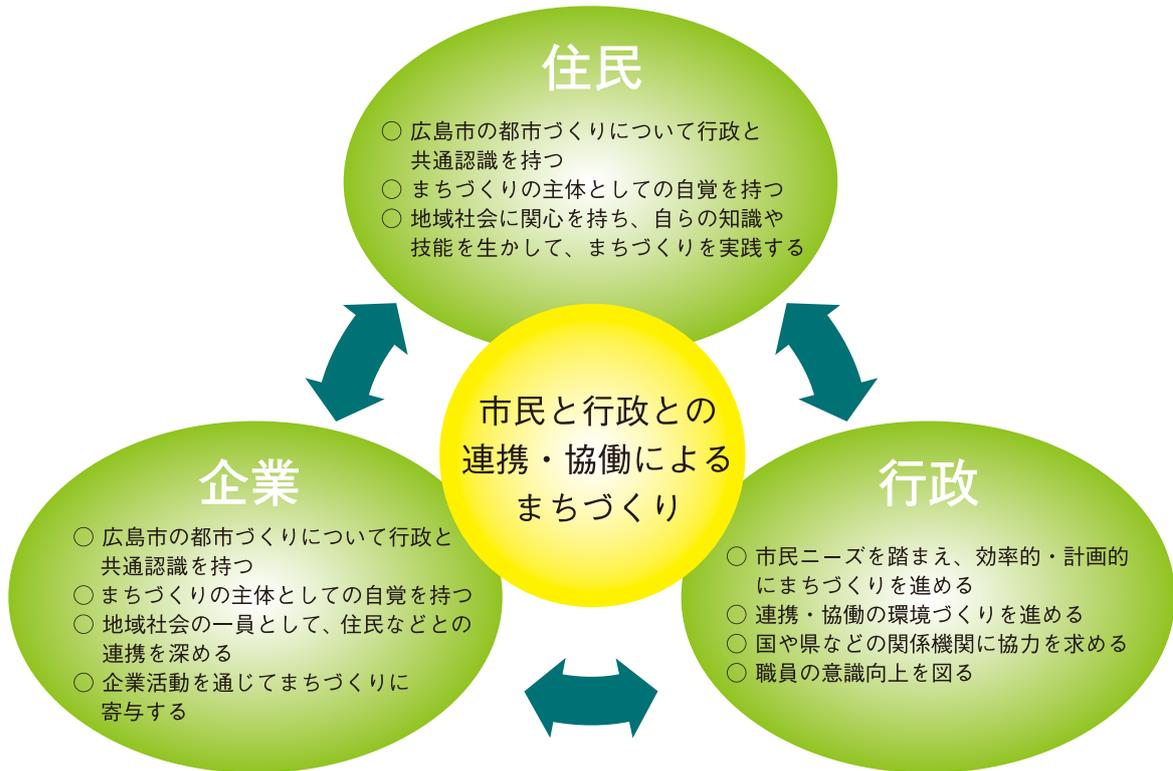
イ 企業（経済・産業団体や商店会などを含む）に期待される役割

- 広島市の都市づくりについて、市民と行政が共通認識を持つよう努めます。
- まちづくりの主体であることを自覚し、地域社会に関心を持って、積極的にまちづくりに関わるよう努めます。
- 地域社会の一員として、地域住民やNPOなどとの連携を深め、地域と密着した関係を構築するよう努めます。
- 地域の活性化が自らの企業価値を高めるという視点を持ちながら、人材・資金・ノウハウなどの資源を生かし、企業活動を通じてまちづくりの推進に寄与するよう努めます。

ウ 行政の役割

- 行政が主体的に行うべきまちづくりについて、市民の多様なニーズを踏まえながら、選択と集中や効率的な施策展開などに留意して、計画的に進めます。
- 連携・協働によるまちづくりを推進するため、各主体が十分に力を発揮することができる環境づくりに努めるとともに、市役所内の連携強化に取り組みます。

- 地域の課題に適切に対応するため、関係者間の連携・協働を促すとともに、必要に応じて、国や県などの関係機関に協力を求めます。
- 連携・協働によるまちづくりに関する職員一人一人の意識の向上を図ります。



(2) 連携・協働のための環境づくり

ア 情報の発信

市民と行政が連携・協働するにあたっては、「自主性の尊重」、「対等な関係」、「相互理解」、「目的の共有」といったルールが守られる必要があります。これにより、行政から市民への一方通行ではない、市民主体のまちづくりが可能となります。

そのためには、行政による十分な情報提供が前提となることから、都市計画マスタープランや都市計画制度の内容、広島市のまちづくりの課題など、**各種情報をわかりやすく発信**します。

イ 市民との対話

あらゆる機会をとらえて市民との対話を進め、**積極的に市民ニーズや地域の課題の把握に努めます。**

ウ 市民のまちづくり活動の支援

市内の各地において、地域住民や市民団体、NPOなどにより、地域の歴史・文化の再発見、地域資源の保全、居住環境の改善などの活動が展開されています。

こうした市民のまちづくり活動を支援するため、市の職員やコンサルタント等専門家の派遣、活動経費の助成、積極的な情報提供などを行います。

エ 連携・協働の進め方の見直し

連携・協働の進め方については、一つの決まった正解があるわけではなく、社会経済情勢の変化や市民ニーズなどに合わせて、柔軟に対応することが求められます。

このため、連携・協働によるまちづくりの実施状況を随時点検し、必要に応じて進め方の見直しを行います。



石内地区でのまちづくり勉強会

2 総合的な施策展開の推進

人口減少・超高齢社会の到来、厳しい財政状況、災害リスクの高まり、地球環境問題の深刻化、市民ニーズ・価値観の変化などにより、都市づくりに関する課題は複雑化、多様化しています。

このため、持続可能な活力ある都市づくりを着実に進めていくためには、都市整備に関わる部門相互だけでなく、関連する幅広い部門とも連携するほか、県や周辺市町とも広域的な観点で調整・連携して、総合的に施策を展開していく必要があります。

(1) 関係計画との調整・連携

土地利用規制や、道路、公園・緑地等の都市施設の整備、魅力的な都市景観の形成など、都市整備に関する取組に当たっては、都市計画マスタープランを活用し、相互の連携や一体性の確保などを図ります。

また、都市整備に関わる部門だけでなく、経済振興、福祉、子育て、文化・芸術、観光などの関連する部門とも積極的に調整・連携を行います。

(2) 広域的な都市づくり

本市を中心とし近隣市町を含む圏域（広島圏都市計画区域）が、中四国地方全体を牽引する中枢圏域として一体的に発展するよう、「広島圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に基づいて、県や近隣市町と連携し、広域的観点からの都市づくりに取り組みます。

また、市域を越えた行政課題への対応や隣接市町との連続性の確保などのため、必要に応じて、個別の事業展開における隣接市町との調整を行います。

【広島圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】（平成23年9月広島県策定）の抜粋

（都市づくりの基本目標）

区域の将来像

中国地方の先進的な高次都市機能を担う中枢都市圏

基本目標1 活力を生み出すまちづくり

- ◆広島市を中心としたエリア
 - ・広島中枢拠点（広島市、府中町、坂町、海田町の中心部）を中心に、広域的影響力のある高次都市機能の集積・強化により中枢拠点性の向上を図り、中国地方の発展を牽引するグローバルな都市づくりを目指す。
- ◆呉市・廿日市市・大竹市のエリア
 - ・広島中枢拠点の役割を分担する拠点として、高次都市機能の集積・強化を図り、活力あふれるいきいきとした都市づくりを目指す。

基本目標2 持続可能なまちづくり

- ◆広島市を中心としたエリア
 - ・都市機能の集約を図り、公共交通の利便性向上などを通じて、環境負荷を低減する。
- ◆呉市のエリア
 - ・JR駅周辺等を核として、都市機能の集積した集約型都市構造の形成を目指す。
- ◆廿日市市・大竹市のエリア
 - ・都市機能の集約を図り、公共交通の利便性向上などを通じて、環境負荷を低減する。

基本目標3 個性あふれるまちづくり

- ◆広島市を中心としたエリア
 - ・原爆ドームを中心とした国際的知名度の高い観光資源を活かし、厳島神社との広域観光ルート形成など連携を図りつつ、国内外との交流拡大を促進する。
- ◆呉市のエリア
 - ・旧海軍等の歴史的資源を活かして集客性を高め、県内外の交流拡大を促進する。
- ◆廿日市市・大竹市のエリア
 - ・厳島神社を中心とした国際的知名度の高い観光資源を活かし、原爆ドームとの広域観光ルート形成など連携を図りつつ、国内外との交流拡大を促進する。
- ◆各エリア共通
 - ・都市周辺の山や海など自然環境を保全し、都市と自然が調和した、一体的で質の高い都市環境や都市景観の形成を図る。

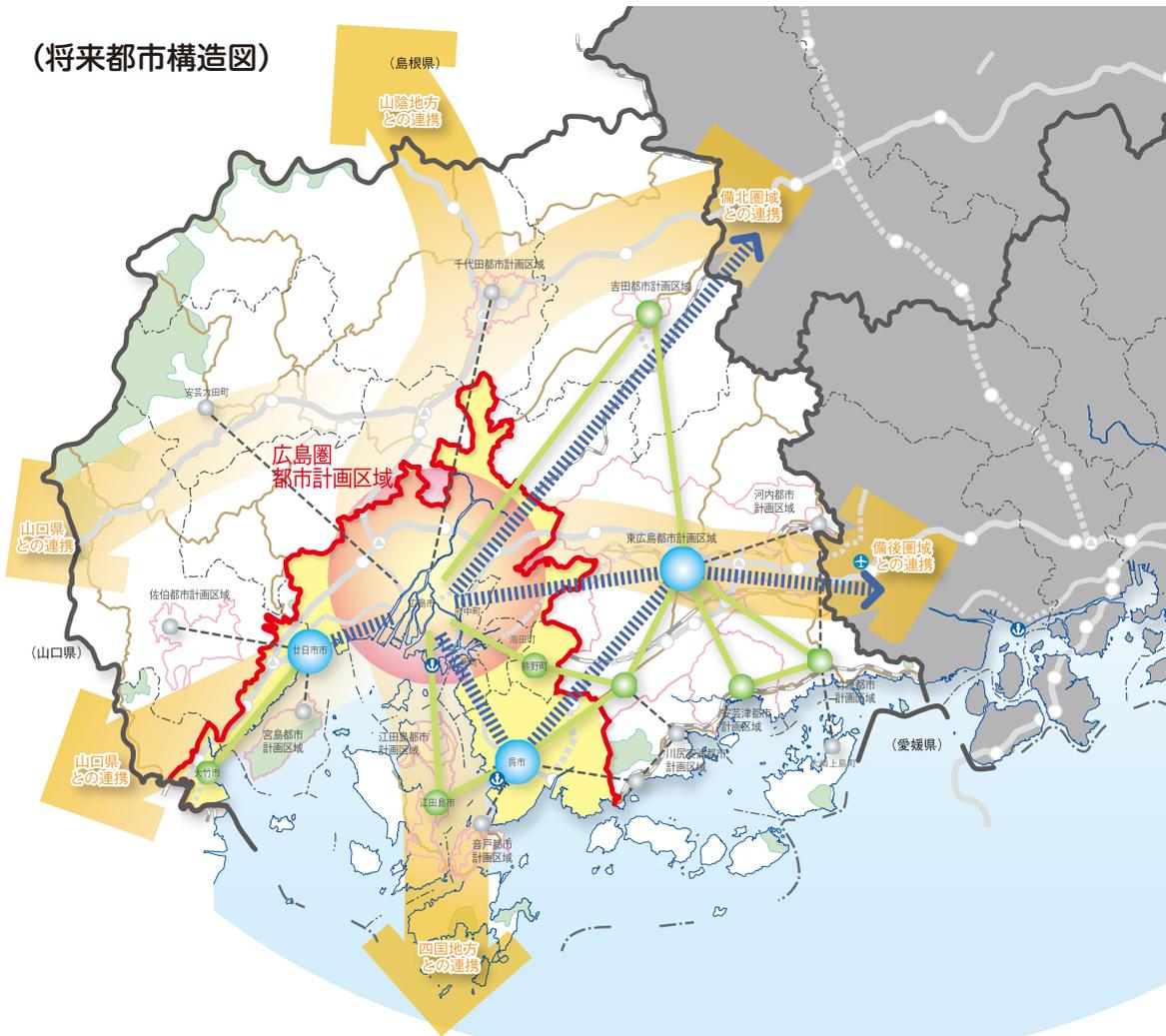
基本目標4 安全で安心なまちづくり

- ◆各エリア共通（市町の連携に係るもの）
 - ・緊急輸送道路ネットワーク計画に基づき、幹線道路の整備を進め、県内各市町の中心部を結ぶ多重ネットワークを構築する。
 - ・市町をまたいだ施設間の移動等の円滑化を図るため、バリアフリー整備の各事業者間での連携・協働を促進します。

基本目標5 みんなで創るまちづくり

- ◆各エリア共通
 - ・公共的なことはすべて行政が行うべきとの考え方を変え、まちづくりにおいて、NPO・ボランティア団体などの多様な主体の参画と役割分担を促進します。

(将来都市構造図)



中 枢 拠 点	県外をもサービス圏域とし、広域的影響のある、高次都市機能の集積・強化により中国地方全体の発展に当たって中心となる拠点	広島市中心部 府中町中心部 海田町中心部 坂町中心部
広 域 拠 点	都市機能及び一部高次都市機能の集積を図り、中枢拠点の都市機能を一部分担する拠点	呉市中心部 廿日市市中心部
都 市 拠 点	都市機能の集積を推進し、広域拠点による機能補完を受けつつも、一定程度の独自性を持つ拠点	大竹市中心部 熊野町中心部
広 域 連 携 軸	高次な都市機能の強化を推進する軸であり、グローバルな都市機能を有する都市を相互の連携により実現	広域幹線道路、 鉄道等
都 市 間 連 携 軸	広域拠点との連携により個々の都市の発展を促す軸	国道、県道、 航路等

拠 点	中枢拠点 中核拠点			
	広域拠点			
	都市拠点			
	地域拠点			
中 国 地 域 連 携 軸	広域連携軸			
	都市間連携軸			
	地域間連携軸			
	都市ゾーン (都市計画区域)			
ゾ ー ン	自然環境保全ゾーン (国立公園等)	陸域 海域		
	整備済み	整備予定		
高規格幹線道路等	国 道	鉄 道	空 港	国際拠点港湾 重要港湾